

科目「社会学」

以下の〔問1〕と〔問2〕に解答しなさい。それぞれ別の解答用紙を用いること。

〔問1〕 次の12の用語のうち4つを選んで説明しなさい。選択した用語の番号を明記すること。

1. 内集団バイアス
2. グローカリゼーション
3. ハビトゥス
4. 中範囲の理論
5. 原因帰属
6. ダブルバインド
7. 実践コミュニティ
8. 社会的性格
9. クラ交換
10. シャドウ・ワーク
11. プライミング効果
12. 世界システム

〔問2〕 次の8問から2問を選んで解答しなさい。選択した問題の番号を明記すること。

1. 都市化—郊外化—逆都市化—再都市化のサイクルと大都市中心部の再開発について事例を挙げながら論じなさい。
2. 文化人類学的な観点から巡礼について論じなさい。また、現代における巡礼の持つ意味を、事例を挙げて述べなさい。
3. G.P. マードックの核家族普遍説について論じなさい。
4. マス・メディアの効果分析における「アジェンダ設定機能」について、ジャーナリズムの観点から論じなさい。
5. 錯誤相関について、現代日本社会における事例を挙げて論じなさい。
6. A. ギデンズの「純粋な関係性」について論じなさい。
7. 観光と文化の関係について、文化人類学的な観点から論じなさい。
8. 質問紙調査に求められる倫理的配慮について論じなさい。

科目「心理学」

下記の6問から4問を選択して解答しなさい。

1. 行動形成と行動連鎖の違いについて述べなさい。
2. 桿体(rod)細胞と錐体(cone)細胞の役割について視覚心理学の観点から述べなさい。
3. ソマティックマーカー仮説について説明しなさい。
4. 問題解決におけるアルゴリズムとヒューリスティクスについて説明しなさい。
5. 回帰分析について、例を挙げて説明しなさい。
6. 言語発達における、「外言」と「内言」の働きを、コミュニケーション・思考・行動調整と関係させながら論じなさい。

科目「教育学」

※指示に従って以下の問いに答えなさい(問題Ⅰ、Ⅱの解答はそれぞれ別の解答用紙に記入すること。また問題Ⅱについては、選択した問題番号を必ず解答欄の冒頭に明記すること)

問題Ⅰ(共通科目・受験者全員が解答すること)

教育学研究を進めてゆく際の姿勢として、次のような一見対立する主張が唱えられることがある。

「思想はエビデンスにまさる」

「思想ではなく理論を」

「教育にエビデンスを」

どのような主張に立つにせよ、「理論」「思想」「エビデンス」の相互の関係を自覚的に位置づけることは、特に教育学研究においては極めて重要である。あなたが修士課程で行おうとしている教育学研究においては、どのような「エビデンス」をもとに、どのような「理論」の上立った、あるいはどのような「理論」を目指した研究をしようと志すか、またそこに何らかの「思想」的背景があるか否か、論理的に考察しながら、これら三つの概念の関係について論じなさい。

問題Ⅱ 以下の6問の中からいずれか1問を選択し、答えなさい。(選択した問題番号を解答欄の冒頭に明記すること)

- 問1 ヨーロッパ教育思想には伝統的な「陶冶論(人間形成論)」の影響が見られる。キリスト教的な「陶冶論」と人文主義的な「陶冶論」の二つである。しかし、それらを受け継ぎつつも、18世紀後半、近代市民社会の成立とともに近代的な「陶冶論」が成立してくる。これら三者それぞれを、違いや関係性が明確になるように論じなさい。
- 問2 現代において「教育思想」は存在するだろうか。存在するとしたら、どこにどのような形で存在し、どのような機能を担っているのだろうか。また、存在しないとしたら、なぜそうなのか。「教育思想」を、教育学、教育理論、教育論、「政治思想」や「経済思想」と区別した上で論じなさい。
- 問3 「教育勅語」の成立・普及・終焉について論じなさい。
- 問4 日本の高等教育改革政策の策定のために、比較教育的に参照することが適切であると考えられる国や地域(複数可)はどこか、またそれはなぜか。具体的な事例や根拠をあげながら、あなたの見解を論述しなさい。
- 問5 学習動機づけに関する理論を三つ挙げ、それらの概要を記した上で、学校における学習意欲の説明概念としての有効性について相互に比較しつつ、各理論を評価してください。
- 問6 乳児期から児童期にかけて、子どもが示す発達心理学的特徴の中で、あなたが特に教育との関連で重要と考える特徴を取り上げ、それがどのような意味で重要なのかを説明しなさい。